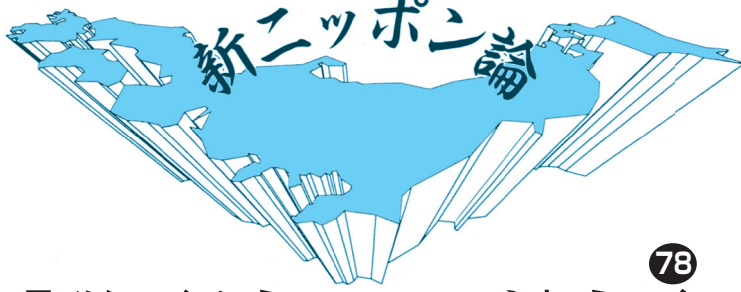


田中康夫の



78

「脱・記者クラブ」宣言

「混乱する行政機関を尻目に彼らは全国から掻き集めた物資を被災者に分け与えている」。阪神・淡路大震災直後の「反社会的勢力」の活躍を、イタリアの日刊紙「コ

を知らぬ、安全地帯からの「呆道」です。

星霜を経て、耳目を集めた原告伊藤詩織、被告山口敬之に関する判決を巡っても、高い関心を示す海外メディアが斯く斯く然々と又聞きを挿入して記事に厚みを持たせる「呆道」が大半。

こうした中、スポーツ紙を含む12月19日（木）付け日刊紙全紙をコンビニエンスストアで購入した僕は、「勝訴」の紙を掲げる彼女の写真を「Ito wins damages in rape case」の見出しと共に1面で掲載した「ジャパントイムズ」の淡々と客観的事実を記す、恣意的でも扇情的でもない冒頭の一文に「感銘」を受けます。

「東京地方裁判所は水曜日、安倍晋三首相と極めて親密と目される著名ジャーナリスト山口敬之に対し、日本に於ける#MeToo運動の象徴的存在であるフリーランスジャーナリスト伊藤詩織への330万円の慰謝料及び訴訟費用の支払いを命じた」。

ワシントン支局長を解任された被告が東京放送を退社し、準強姦容疑で書類送検された後に幻冬舎から上梓した『総理』『暗闘』2

冊の表紙は何れも、官邸執務室で撮影した首相の写真なのです。拳を振り上げて「正義」を語る凡百の脊髄反射メディアとは異なる、大人の「報道」です。

暫し遡って12月2日、参議院本会議で以下の答弁を首相は行いました。「個々の端末でなくサーバでデータを保存するシンククライアント方式で、端末にデータは保存されておらず、サーバのデータを破棄後、バックアップデータの保管期間を終えた後は復元は不可能だとの報告を受けている」。

それは دونالد・トランプ、ボリス・ジョンソンの僚友に連なる「ポスト・トゥルース」な認識。「Thin (薄) + client (クライアント) ユーザー」とはユーザー側でデータを保存するのではなく、サーバ側でデータを国内外の複数箇所へ未来永劫バックアップする SAN = Storage Area Network 方式。南海トラフ巨大地震が発生しても復元可能な蓋然性は極めて高いのです。

「オウンゴール」な答弁にも拘らず、シンククライアントなる単語を用いて報じたのは朝日・日本経済・毎日の3紙のみ。そのシンク

クライアントとは何ぞやを解説した新聞に至っては皆無。「反安倍政権」の立ち位置を公言する「東京新聞」は、有るう事か翌3日付け1面に「招待者名簿データ「復元不可能」と見出しを冠する始末。而してSNS上ではサーバ、サーバ、サーバの表記を巡って侃侃諤諤・喧喧囂囂・喧喧諤諤、訓詁学派の如き「本質」とは無縁の些末な論争で盛り上がる「眠度」のニッポン。

「脱・記者クラブ」宣言から19年。未だ島国ニッポンの斜陽産業「誤送船団・記者クラブ」の心智に殆ど進化は見られませんが、「須く表現活動とは一人ひとりの個人に立脚すべきなのだ。責任有る言論社会の、それは基本である」と記す同宣言の冒頭を再録。

「その数、日本列島に八百有余とも言われる『記者クラブ』は和を以て尊しと成す金融機関すら「護送船団方式」との決別を余儀なくされた21世紀に至るも連綿と幅を利かす。それは本来、新聞社と通信社、放送局を構成員とする任意の親睦組織の側面を保ちながら、時として排他的な権益集団と化す可能性を拭い切れぬ」。

★次号の月号の発行口は一月五日日曜。